

=====  
◆◇「犯罪からの子どもの安全」メールマガジン vol.21 ◇◆  
2010年5月26日号  
=====

このメールマガジンでは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を毎月一回程度配信しております。

次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート  
・ 児童虐待防止に向けた取組みについて
2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング  
今月一番注目されたコンテンツとは・・・

-----  
1. 犯罪からの子どもの安全レポート  
-----

皆さんこんにちは！

さわやかな新緑の季節到来、のはずが、春のうららかさを実感できる日が少ないような気がする今日この頃。とうとう「梅雨の走り」という言葉も聞こえ始めましたが、このまま梅雨に突入してしまうのでしょうか・・・

最近領域としても気になるニュースがいくつかあります。その一つは、東京都の青少年健全育成条例改正についてです。この問題は、表現の自由との兼ね合いもあり一筋縄にはいかない様相を呈していますが、インターネット上での児童ポルノに対しては、ブロッキング（インターネットへの接続サービスを提供するプロバイダーが特定のサイトの閲覧を遮断すること）が今年度中にも導入される見通しが示されるなど、目が離せません。

もう一つは、児童虐待に関するニュースです。「女兒を床にたたきつける」「乳児の足にアイロンをあてる」など想像するに堪えない事件の記事が連日新聞などに掲載されています。こちらも予防に向けて様々な動きが出ていますので、今号のレポートで取り上げました。ここで取り上げたのはほんの一

部にすぎないかもしれませんが、ぜひご覧ください。

領域では、これまで毎年この時期は公募を開始し、選考に向けて準備を行う期間でしたが、公募が終了した本年度は、少しスケジュールが異なります。残りの期間でしっかりと成果を生み出し、その取組みや成果を認知・普及するためにも問題に取り組む人々とのネットワークを拡充するため、マネジメントグループが一丸となって様々な取組みを検討中です。

各プロジェクトでも取組みが着々と進められ、メディアでも取り上げられています。

5月10日には、NHKニュース「おはよう日本」で、「子どものネット遊び場の危険回避、予防システムの開発」プロジェクトの取組みが取り上げられました。「『プロフ』サイトから子どもたちのつながりを探る」という特集で、教室の中では見えないネット上の子どもたちの人間関係を解析し、学校の生徒指導に役立てる試みについて紹介されました。

今月中旬には「計画的な防犯まちづくりの支援システムの構築」プロジェクトが演劇ワークショップの講演会を開催しました。子どもたちも参画して防犯まちづくりを進めたい。そこで考えている手法が演劇ワークショップとのこと。講師はメキシコで演劇を通したまちづくりに取り組むギジェルモ・ディアス・マドリ氏。ストリートチルドレンが多いメキシコの現状や、彼らを参画させた路上演劇の取組みについて紹介。講演後は、参加者による実演もありました。

また、明後日28日には、前回のメルマガでも紹介しましたが、「被害と加害を防ぐ家庭と少年のサポート・システムの構築」プロジェクトが公開セミナーを名古屋で開催します。今月号のイベント情報にも掲載していますので、詳細はそちらでご確認ください。

それでは、最後までお楽しみください。



## ●児童虐待防止に関する取組みについて

児童が虐待により命を落としてしまう痛ましい事件が全国で相次いでおり、メディアでの報道も後を絶たないように思います。そんなニュースが被害者のあどけない顔写真とともに報道されるたびに心が痛みます。

東京都では、平成20年度より児童虐待死亡事例等検証部会を設置し、第三者による児童虐待の事例検証を実施していました。その部会で、平成21年度に自治体が関与していながら重大な児童虐待に至ってしまった事例の検証を行い、その検証結果及び再発防止策を、報告書（平成21年度東京都児童福祉審議会児童虐待死亡事例等検証部会報告書）にまとめ、「児童虐待死亡ゼロを目指した支援のあり方」として、知事への提言を行いました。

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/KONDAN/2010/04/40k4s200.htm>

しかし、上記検証を行っている最中である今年1月にも、東京都江戸川区で小学一年生の男児が虐待死するという事件が発生。児童虐待でしばしば指摘される問題点として、学校や児童相談所、行政機関など関係機関の情報共有と連携の不十分さがありますが、この事件も例外ではありませんでした。

これを受けて、東京都教育委員会では、先の報告書等の内容も踏まえ児童虐待の早期発見と適切な対応のためのチェックリストを作成しました。

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr100511.htm>

もともと7年ほど前から上記のようなリストは存在していたようですが、児童虐待の早期発見、発見後の組織的な対応及び関係諸機関との継続的な連携等、児童虐待への適切な対応に資するよう改定されました。具体的には、学校が児童相談所などに通告した場合、その後の相談や取組みの内容を記録する欄を設けたとのことでした。

また、国からも通知が出されました。

「児童虐待防止に向けた学校等における適切な対応の徹底について」  
文部科学省WEBサイト

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/nc/1289682.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1289682.htm)

「学校及び保育所から市町村又は児童相談所への定期的な情報提供について」  
厚生労働省WEBサイト

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv40/index.html>

厚生労働省WEBサイトの指針は、文部科学省、厚生労働省が協議を行い、文部科学省から地方公共団体の教育部門に、厚生労働省から地方公共団体の福祉部門にそれぞれ通知されたものです。

動きは行政だけに留まりません。NPOの江戸川子どもおんぶずと大学生など若者数十名からなるチームでは、「江戸川子どもの虐待防止キャンペーン」と銘打って、児童虐待のない「子どもにやさしいまち」のためのアイデア募集を行っているとのこと。虐待防止のための動きはさまざまある中、このニュースに目がとまったのは、キャンペーンの対象が18歳以下の子どもであり、子どもの視点からのアイデアを募るといふのは新鮮に感じたからです。

<http://edogawa-campaign.cocolog-nifty.com/>

当領域でも、虐待予防に関する取組みを行っているプロジェクトがあります。「虐待など意図的傷害予防のための情報収集技術及び活用技術」プロジェクトです。このプロジェクトでは、虐待など意図的な傷害を発見するために不慮の傷害と見分ける科学的方法を確立し、医療機関・児童相談所などの現場で活用できる意図的な傷害を予防するための技術の開発を目指しています。

[http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/t\\_yamanaka.html](http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/t_yamanaka.html)

先述した東京都の提言「児童虐待死亡ゼロを目指した支援のあり方」で、主なポイントの一つに「医療機関からの虐待通告や情報提供は、より危機感をもって対応すること」とあります。医療機関は、診察や健診の場面などで多くの親子に接しており、医療機関が通告する事例は重大な虐待につながるリスクが高い場合が多い、というのです。

このことから、虐待を見抜き、被害を最小限に食い止める上で、医療機関の担う役割の重要さが伺えます。しかしそれは、経験を積んだ医師であっても難しいとされています。当該プロジェクトで開発中の傷害が意図的か不慮によるものかを見分ける手法の確立は、まさにそういった難しさの解消に挑んでいるものです。現場に普及し、虐待防止に寄与できることを期待します。

個々人やそれぞれの家庭が抱える悩みや問題を理解し、解決することは容易ではありません。しかし、それを1人では抱えきれなくなったとき、その抱えきれないという状況をいち早く察知して手を差し伸べてもらうだけでも、問題や悩みが被害を生みだしてしまう最悪の結果を防ぐことができるかもしれません。

そういった流れが社会に仕組みとして定着し各機関の連携が強化されること、児童福祉司など児童虐待に対応する現場の方々が置かれている厳しい現状が改善されること、この両者が実現され、虐待により子どもが被害を受けるといふ悲しいニュースが減ることを願います。

(領域担当 S.F.)

---

## 2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報・今月の見どころ

---

### 【更新情報】

#### ●国の取組み

青少年施策に係る「ユース 特命報告員」の募集について（～5月31日）内閣府  
<http://www.youth-cao.go.jp/index.html>

捜査手法、取調べの高度化を図るための研究会について（第3回）（警察庁）  
[http://www.npa.go.jp/shintyaku/keiki/gijiyoushi\\_20100514.pdf](http://www.npa.go.jp/shintyaku/keiki/gijiyoushi_20100514.pdf)

犯罪死の見逃し防止に資する死因究明制度の在り方に関する研究会（警察庁）  
[第2回議事要旨]<http://www.npa.go.jp/sousa/souichi/gijiyoushi2.pdf>  
[第3回議事要旨]<http://www.npa.go.jp/sousa/souichi/gijiyoushi3.pdf>

少年矯正を考える有識者会議 第3回議事録を掲載しました（法務省）  
<http://www.moj.go.jp/shingi1/shingi06400003.html>

第1回児童虐待防止関連親権 制度部会議事概要（法務省）  
<http://www.moj.go.jp/shingi1/shingi04900007.html>

その他の取組みについてはこちら

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

#### ●イベント情報

平成22年5月28日「被害と加害を防ぐ家庭と少年のサポート・システムの構築」  
プロジェクト公開セミナー 相談窓口における支援の方向性  
[http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/pdf/m\\_tsujii\\_s.pdf](http://www.anzen-kodomo.jp/program/research/pdf/m_tsujii_s.pdf)

平成22年6月11日 JST ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト シンポジウム  
「ロボットで発達を科学する」  
<http://www.jeap.org/web/sympo/>

平成22年6月12日～日本赤ちゃん学会公開シンポジウム  
「赤ちゃんが育つ場・赤ちゃんが育む場」  
[http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~jsbs2010/free\\_sympo.html](http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~jsbs2010/free_sympo.html)

平成22年6月20日～セーフコミュニティおもしろ講座：『あつぎ塾』  
日本市民安全学会  
<http://www.shimin-anzen-gakkai.org/>

平成22年6月26日～日本小児看護学会 第20回学術集会 次代への看護の挑戦  
子どもたちの権利を保障し生活をデザインする

<http://www2.convention.co.jp/jschn20/index.html>

その他のイベントについてはこちら  
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



### 【今月の見どころ】

今月の見どころはトピックスから、「プロジェクト実施者インタビュー第9回」です。

今回取材したのは、「虐待など意図的傷害予防のための情報収集技術及び活用技術」プロジェクトです。

今号のレポートでも紹介しましたが、このプロジェクトでは、虐待などの意図的な傷害を発見するために不慮の傷害と見分ける科学的方法の確立を目指し、医師中心の医療系チームと工学系の研究者中心のチームがタッグを組んで研究開発を行っています。

代表者を始めとするプロジェクトメンバーの「子どもの安全ために何かをしたい」との思いが原動力となり、医療系と工学系の画期的かつ素晴らしい連携プレーが実現しています。

それぞれの現場の実情や課題なども随所に盛り込みながら各チームを2回に渡って紹介していますので、ぜひご覧ください。

トピックス → <http://www.anzen-kodomo.jp/column/>

---

## 3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング

---

### 【アクセスランキング】

- ☆ 1位 イベント情報  
<http://anzen-kodomo.jp//event/index.html>
- 2位 触法少年のための適応支援プログラム  
本人と家族のための相談窓口  
[http://anzen-kodomo.jp//program/research/pdf/m\\_tsujii.pdf](http://anzen-kodomo.jp//program/research/pdf/m_tsujii.pdf)
- 3位 研究開発プロジェクト  
<http://anzen-kodomo.jp//program/research/index.html>

\*\*\*\*\*

### 「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら  
<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>

▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら  
c-info@anzen-kodomo.jp

■発行日 2010年5月26日

■発行元

(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域

領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>

社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>

\*\*\*\*\*